



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 日本プラス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 豊田 剛志 TEL 0544-58-9080
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	23,305	4.7	△351	—	△92	—	△487	—
2022年3月期第1四半期	22,264	31.7	478	—	469	—	235	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,430百万円 (△23.8%) 2022年3月期第1四半期 1,878百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△25.47	—
2022年3月期第1四半期	12.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	81,048	—	28,711	—	—	35.4
2022年3月期	79,536	—	27,377	—	—	34.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 28,711百万円 2022年3月期 27,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	5.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	5.00	—	15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	27.2	2,500	—	2,300	—	1,400	—	73.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	19,410,000株	2022年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	292,212株	2022年3月期	291,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	19,117,981株	2022年3月期1Q	19,119,974株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内外の経済は、世界的な半導体供給不足の長期化、原材料価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢及び上海ロックダウンの影響等、非常に厳しい状況となっております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、為替影響等により前年同期比4.7%増の23,305百万円となりましたが、為替影響を除くと、半導体供給不足の影響等により減収となっております。損益面では、合理化により収益改善をはかるものの、減収影響、市況変動に伴う原材料の値上げ、半導体供給不足による直前での大幅減産に伴う生産ロスや北米、中国の賃金上昇を受けた労務費の増加に加え、輸送費の高騰、物価高騰による諸経費の増加等により営業損失は351百万円（前年同期は478百万円の営業利益）、経常損失は92百万円（前年同期は469百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は487百万円（前年同期は235百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内の売上高は、半導体供給不足の影響はあるものの、新車効果等により7,016百万円と前年同期に比べ679百万円（10.7%）の増収となりました。セグメント損失は、508百万円（前年同期は737百万円のセグメント損失）となりました。市況変動に伴うマグネシウム原料の値上げ、輸送費の高騰や上海ロックダウン影響による運賃の増加等により赤字となるものの、増収影響、前年度に減損損失を計上したことによる減価償却費の減少等により赤字幅を縮小しました。

② 北米

北米の売上高は、為替影響等により8,981百万円と前年同期に比べ335百万円（3.9%）の増収となりましたが、為替影響を除くと、半導体供給不足の影響等により減収となりました。セグメント損失は、合理化により収益改善をはかるものの、減収影響、市況変動に伴う樹脂やマグネシウム原料の値上げ、半導体供給不足による直前での大幅減産に伴う生産ロスやアメリカでの賃金上昇を受けた労務費の増加、輸送費の高騰、物価高騰による諸経費の増加等により479百万円（前年同期は343百万円のセグメント利益）となりました。

③ 中国

中国の売上高は、為替影響等により6,558百万円と前年同期に比べ188百万円（3.0%）の増収となりましたが、為替を除くと、半導体供給不足の影響等により減収となりました。セグメント利益は、減収影響、市況変動に伴う樹脂やマグネシウム原料の値上げに加え、賃金上昇を受けた労務費の増加等により595百万円と前年同期に比べ199百万円（△25.1%）の減益となりました。

④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、半導体供給不足の影響等により749百万円と前年同期に比べ161百万円（△17.7%）の減収となりました。セグメント損失は、減収影響、市況変動に伴うマグネシウム原料の値上げ、車種構成差等により79百万円（前年同期は145百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、81,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,511百万円増加しました。これは有形固定資産の増加1,751百万円、仕掛品の増加170百万円、現金及び預金の増加156百万円及び原材料及び貯蔵品の減少757百万円が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、52,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金の減少1,492百万円及び短期借入金の増加1,181百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、28,711百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,333百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加2,006百万円及び利益剰余金の減少584百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2022年5月12日に公表の業績予想値より変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,310	12,467
受取手形及び売掛金	14,330	14,358
製品	2,503	2,601
仕掛品	1,240	1,410
原材料及び貯蔵品	12,451	11,693
その他	2,527	2,633
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	45,360	45,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,182	9,622
機械装置及び運搬具(純額)	9,550	9,926
工具、器具及び備品(純額)	4,845	4,800
土地	3,468	3,516
その他(純額)	3,723	4,655
有形固定資産合計	30,770	32,522
無形固定資産		
特許権	9	4
その他	108	114
無形固定資産合計	117	118
投資その他の資産		
投資有価証券	2,072	1,995
繰延税金資産	286	180
その他	935	1,076
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,287	3,244
固定資産合計	34,176	35,885
資産合計	79,536	81,048

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,733	8,241
短期借入金	18,910	20,091
1年内返済予定の長期借入金	3,199	3,188
未払法人税等	342	258
賞与引当金	653	411
役員賞与引当金	—	11
製品保証引当金	1,474	1,480
その他	5,788	6,744
流動負債合計	40,103	40,427
固定負債		
長期借入金	7,095	6,759
繰延税金負債	1,229	1,501
退職給付に係る負債	2,816	2,737
役員株式給付引当金	62	64
製品保証引当金	64	68
その他	787	778
固定負債合計	12,056	11,910
負債合計	52,159	52,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	20,374	19,790
自己株式	△128	△129
株主資本合計	28,665	28,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	609	550
為替換算調整勘定	△1,590	416
退職給付に係る調整累計額	△307	△337
その他の包括利益累計額合計	△1,287	630
純資産合計	27,377	28,711
負債純資産合計	79,536	81,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	22,264	23,305
売上原価	20,040	21,657
売上総利益	2,223	1,648
販売費及び一般管理費	1,744	1,999
営業利益又は営業損失(△)	478	△351
営業外収益		
受取利息	27	39
受取配当金	22	25
投資不動産賃貸料	16	16
為替差益	—	216
補助金収入	23	19
その他	12	25
営業外収益合計	101	343
営業外費用		
支払利息	64	81
持分法による投資損失	0	0
為替差損	37	—
その他	8	3
営業外費用合計	111	85
経常利益又は経常損失(△)	469	△92
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	469	△92
法人税等	233	394
四半期純利益又は四半期純損失(△)	235	△487
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	235	△487

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	235	△487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△59
為替換算調整勘定	1,669	2,006
退職給付に係る調整額	3	△30
その他の包括利益合計	1,642	1,917
四半期包括利益	1,878	1,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,878	1,430

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	6,336	8,646	6,370	910	22,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,041	12	684	1,417	3,156
計	7,378	8,658	7,055	2,328	25,420
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△737	343	795	145	546

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	546
セグメント間取引消去	△68
その他の調整	0
四半期連結損益計算書の営業利益	478

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	7,016	8,981	6,558	749	23,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,740	2	467	1,203	3,414
計	8,756	8,983	7,026	1,952	26,719
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△508	△479	595	△79	△472

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△472
セグメント間取引消去	120
その他の調整	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△351